

テクノ・マインド株式会社



住所：仙台市宮城野区榴岡一丁目6番11号

TEL：022-742-3331

E-mail：

URL：https://www.tmc.co.jp

資本金：100,000千円 / 従業員数：381名

事業内容：システムインテグレーションサービス ソフトウェア開発

IDCを活用したアウトソーシングサービス インフラ構築保守



↑Web研修

WEB会議→

取組みの概要

- ・2019年度より施行的に実施していたテレワークを新型コロナウイルス感染防止策として社内の設備の増設、運用方法の見直しを行い、全社的に取り組んだ。
- ・緊急事態宣言後はまず交代制でのテレワークを開始し、常駐する協力会社社員も対象とした
- ・2020年4月新入社員技術研修について、例年集合教育であったが、新型コロナウイルス感染防止のためリモート開催となり、弊社の新入社員は感染対策を行った会議室や個人宅からリモート接続による受講を行った。

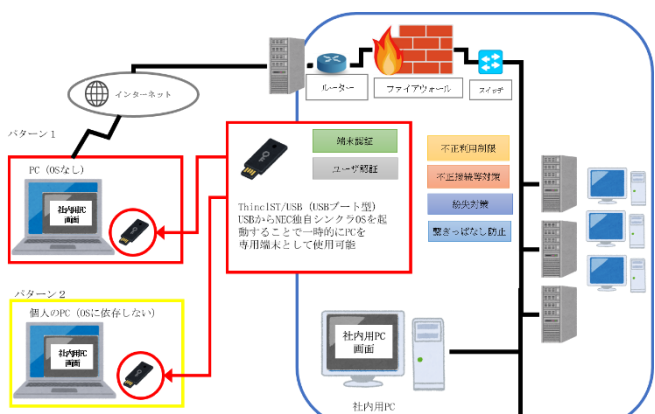
テレワーク導入状況

- ・**テレワーク実施人数** ①R3.1月現在 実施人数257名（社員の約6.7割） ②最大実施人数（R3.5月）257名（社員の約6.7割） ③新型コロナウイルス感染症前の実施人数 一人名
- ・**導入部署（最大導入時）**： 全社全部門
- ・**システム方式** ■リモートデスクトップ方式 □仮想デスクトップ方式 □クラウド型アプリ方式 □安全ファイル持出方式 □ファイル持出方式（ネットドライブやVPN経由持出） □その他（ ）
- ※参考資料：（一社）日本テレワーク協会「テレワーク関連ツール一覧第5版」（PDFファイル：1.40MB）

テレワーク導入時の課題と解決方法

- ・テレワーク時のPC等機材の不足 → 社内にて保管していた旧型のPCの再利用、運用（認証）方式の追加および接続PCの購入。
- ・テレワーク時の情報漏洩のリスクについて → リモート時は社内での運用と同等とし、テレワークPCへのデータの保管、印刷は不可とした。
- ・自宅でのWiFi環境のない → 社員に限り事前申告により、会社貸与のスマートフォンでの接続を許可した（期間限定）

活用した機器・ツール・ソフト等



実施した効果及び課題

○テレワーク

【効果】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止
- ・時間の有効活用
- ・残業時間の軽減、電気量の使用量削減
- ・営業スタイル変革によるマーケット拡大
- ・会場を問わない研修・会議への参加

【課題（解決方法）】

- ・勤務・作業時間の把握が難しい
→ 勤怠・作業時間報告システムの活用
- ・タイムリーな意思の疎通が難しい
→ グループウェア等情報共有ツールの活用
- ・様子がうかがえない
→ オンライン会議等での報告

○オンライン研修

【効果】

- ・会場を問わない参加が可能
- ・移動による感染リスクの低減
- ・集合教育より安価
- ・e-ラーニングより受動的

【課題】

- ・接続環境が整わない
- ・休憩時間の取り方が難しい
- ・受講内容により、参加者間のコミュニケーションが難しい
- ・研修ツールを使いこなせない

経営者のコメント

【テレワークを始める前の考えなど】

働き方改革の一つとしてテレワーク導入を試行しており、テレワークの必要性は検討していたが、まだ先と捉えていたところもあったが、新型コロナウイルス感染拡大防止により一気に加速した。

【テレワーク実施後の感想など】

実際に運用を開始すると、大きな混乱もなく効果を得ることができた。また、訪問できない状況下での営業活動の方法も変わり、インターネットでの営業活動はこれまでの営業領域を広げる結果となった。

【テレワークを導入する際のコツ、ポイント等】

- ・社内（運用側）
 - セキュリティを確保できる環境を整備する
 - テレワーク（在宅勤務）の運用ルール（規程）の明確化する
 - テレワークをする前提で、できることから始める
- ・社員（協力会社を含む）
 - テレワークへの啓蒙活動

社員のコメント

- ・出勤、出張等の移動時間の短縮、感染リスクの軽減された。また、時間を有効活用できた。
- ・コロナ禍で家族の事情でテレワークを活用することができた。
- ・テレワークを継続していると、会社の状況が見えないこともあり不安に感じることもあった。
- ・オンライン研修は、場所にとらわれず受講することができるが、ツールの使い方が不慣れで受動的になる事が多かった。
- ・接続環境を準備するのが大変だった。